

(別表第1の4)

## 目標達成計画

事業所名グループホーム ゆうなぎ

作成日：平成 21 年 12 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	12	看取りについての、方針、基本理念を見つめ直し、職員で話し合う。	看取りを行っているが、今まで以上に、管理者、職員が方針を見つめ直し、常に話し合いを持っていく。	11/24日職員会議、12/3日・8日にカンファレンスを行い話し合いを持った。職員、看取りに対する心構えは出来ており頑張っていくことを話す。これからも、家族、主治医、家族全員での取り組みを行っていくように十分話し合った。	直ちに	全職員ですぐに方針について話し合いを持ち取り組んだ。
2	10	介護計画と記録の関連できる内容用紙の作成する。	介護計画と関連できる記録用紙の作成する。	11/24日職員会議、12/3・8日カンファレンスにおいて話しをする。以前より検討していた、記録様式の見直しについては、新しい介護記録様式を作成したので、使うようにした。	直ちに	全員で話し合い、様式を作成する。すぐに様式を使っている。
3	9	職員全員で共有でき、簡単に記録できる用紙を作る。	利用者の思い、気づきを簡単に記録出来る用紙を作る。	11/24日職員会議、12/3日・8日にカンファレンスを行い話し合いを持った。記録用紙は今以上には増やしたくないが、「私の姿」の記録用紙の中に、利用者の気づきをいつでも記録できるように検討した。	直ちに	全職員で話し合いを持ち、用紙を修正し、すぐに使うようにし取り組んだ。
4	6	家族の意見要望が反映されているか。行事を通して取り組んでかどうか。	行事を行う際、家族にも役割を持って頂き、今まで以上に、家族の意見、思いを聞いていく。ホームの反映に勤めていく。	全員で話し合いをする。家族には、今まで大きな行事には参加してもらい、手伝いをして頂いていたが、これからも、家族の負担の無いように声かけし、行事の中で、意見が出るようになればと思い取り組んで行きたい。	直ちに	全職員で話し合いを持ち、12月にクリスマス会を行うため、家族に参加の呼びかけをし取り組むようにした。これからの行事にも、呼び掛けをし、運営に反映していきたい。
5	13	災害弱者等の緊急避難場所として貢献しては。	出来る範囲での、地域との双方向での協力体制を作る。	全職員で話しをする。緊急避難場所として貢献していきたいが、まず、地域の方、(区長・民生委員・消防団)との話し合いをもち検討し、話し合いをしていきたい。ホームの周りにも、何ヶ所かの避難場所もあり、もう少し話し合いが必要と思われる。	1~2 か月	運営推進会議に地域の方の参加があるため、会議で話し合いをしていくようにする。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		( ↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	① 看取りを行っているが、今まで以上に、管理者、職員が方針を見つめ直し、常に話し合いを持っていく。
		<input type="radio"/>	② 利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤ その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤ その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④ その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③ 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤ その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤ その他( )